

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-327818

(43)公開日 平成11年(1999)11月30日

(51)IntCl⁶
G 06 F 3/12

識別記号

F I
G 06 F 3/12

A
D

B 41 J 29/38
G 03 G 21/00
G 06 F 3/00

3 9 6
6 5 4

B 41 J 29/38
G 03 G 21/00
G 06 F 3/00

3 9 6
6 5 4 A

審査請求 未請求 請求項の数5 OL 外国語出願 (全34頁)

(21)出願番号 特願平11-74469

(71)出願人 390039435

オセーテクノロジーズ・ペー・ヴェー
OCE' - NEDERLAND BESL
OTEN VENNOOTSHAP

(22)出願日 平成11年(1999)3月18日

オランダ国、5914・セー・セー・フエン
ロ、セント・ウルバヌスウェヒ・43

(31)優先権主張番号 1008659

(72)発明者 モニカ・マリア・ウイルヘルミナ・マテ
ア・ローゼン

(32)優先日 1998年3月20日

オランダ国、5922・ペー・エル・フエンロ
ー、アルバリツクストラート・25

(33)優先権主張国 オランダ (NL)

(74)代理人 弁理士 川口 義雄 (外2名)

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 情報処理システムにおけるプリンタ状態の提示

(57)【要約】

【課題】 デジタルネットワークによって相互接続されたワークステーションと少なくとも1つのプリンタとを含む情報処理システムにおいて、プリンタの現在の状態をアイコンの形でワークステーション表示画面上に表示すること。

【解決手段】 プリンタは、ワークステーションから転送された印刷ジョブが直接実行される自律モードか、または複写プロセスを含む複製プロセスをプリンタのオペレータ操作盤から始動しなければならないコマンド制御モードで、印刷プロセスを実行することができるタイプのものである。プリンタが自律モードで「使用」されているとき、プリンタがコマンド制御モードで「使用」されているときに表示されるアイコンとは異なるアイコンが表示される。

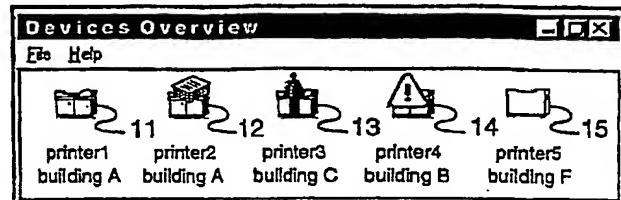


Fig. 3

10

【特許請求の範囲】

【請求項1】 処理装置と、表示画面と、キーボードおよびマウスなどのオペレータ制御手段とを備えた少なくとも1つのワークステーションと、
制御装置とオペレータ操作盤とを備えた少なくとも1つのプリンタと、
ワークステーションとプリンタとが接続されたデジタルネットワークとを含む情報処理システムであって、
プリンタと通信して、前記プリンタに印刷ジョブを送信し、かつ前記プリンタに関する状態情報を呼び出すかまたは受信するためのプログラムがワークステーションに備えられ、
前記プログラムが、前記プリンタに関する現在の状態情報を記号イラストまたはアイコンの形でワークステーション表示画面上に表示するための手段を含み、
プリンタの制御装置が、印刷ジョブを自律モードまたはコマンド制御モードのいずれかで実行するように構成され、
制御装置が、自律モード時には印刷命令の実行を自発的に開始し、コマンド制御モード時には、プリンタのオペレータ操作盤からの開始コマンドに応答して、印刷命令を含む複製プロセスの実行を開始し、
プログラムが、プリンタが前記自律モードで活動している場合と、プリンタが前記コマンド制御モードで活動している場合とで異なるアイコンを表示することを特徴とする情報処理システム。

【請求項2】 コマンド制御モード時の複製プロセスが複写プロセスによって形成され、複写プロセスでは、原本がプリンタ内に存在するスキヤナによって走査され、デジタル画像データが生成され、前記デジタル画像データを使用してプリントが作成される請求項1に記載のシステム。

【請求項3】 コマンド制御モード時の複製プロセスが対話式印刷プロセスによって形成され、対話式印刷プロセスでは、ネットワークを介して送信されプリンタ内の記憶装置に記憶された印刷ファイルが、オペレータ操作盤を使用してオペレータによって選択され、選択後の印刷コマンドに応答して印刷される請求項1または2に記載のシステム。

【請求項4】 コマンド制御モードのアイコンが人の形を含む請求項1に記載のシステム。

【請求項5】 処理装置と、表示画面と、キーボードおよびマウスなどのオペレータ制御手段とを備えた少なくとも1つのワークステーションと、
制御装置とオペレータ操作盤とを備えた少なくとも1つのプリンタと、
ワークステーションとプリンタとが接続されたデジタルネットワークとを含む情報処理システムであり、
プリンタの制御装置が、印刷ジョブを自律モードまたはコマンド制御モードのいずれかで実行するように構成さ

れ、

制御装置が、自律モード時には印刷命令の実行を自発的に開始し、コマンド制御モード時には、プリンタのオペレータ操作盤からの開始コマンドに応答して、印刷命令を含む複製プロセスの実行を開始する情報処理システム用に使用されるプログラムであつて、

プリンタと通信して、前記プリンタに印刷ジョブを送信し、かつ前記プリンタに関する状態情報を呼び出すかまたは受信するため、

10 前記プリンタに関する現在の状態情報を記号イラストまたはアイコンの形でワークステーション表示画面上に表示するための手段として各ワークステーションを作動させ、

プリンタが前記自律モードで活動している場合と、プリンタが前記コマンド制御モードで活動している場合とで異なるアイコンを表示するプログラムが記憶されているコンピュータ読み取り可能記憶媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

20 【発明の属する技術分野】 本発明は、処理装置と、表示画面と、キーボードおよびマウスなどのオペレータ制御手段とを備えた少なくとも1つのワークステーションと、制御装置とオペレータ制御パネルとを備えた少なくとも1つのプリンタと、ワークステーションとプリンタとが接続されたデジタルネットワークとを含む情報処理システムであつて、プリンタと通信して、印刷ジョブを前記プリンタに転送し、かつ前記プリンタに関する情報を呼び出すかまたは受信するためのプログラムがワークステーションに備えられ、前記プログラムがワークステーション表示画面上に、前記プリンタに関する現在の状態情報を記号イラストまたはアイコンの形で表示する手段を含む、情報処理システムに関する。

【0002】 この種のシステムは、EP-A 0398648から知られている。この既知のシステムでは、プリンタアプリケーションを含む応用プログラムの状態が、ワークステーション表示画面上にアイコンによって表示される。このシステムでは、アプリケーションの状態が変化すると、そのアプリケーションのアイコンが、別のアイコンの追加によって動的に調整される。

40 【0003】

【従来の技術】 出願人の特許出願EP-A 0814424は、スキヤナおよびプリンタ部を含むデジタル複写機を記載しているが、そこではプリンタ部をネットワークプリンタとしても使用することができる。この機械は、ネットワークに結合されたワークステーションから2つのタイプの印刷ジョブを受信し、処理するよう構成される。2つのタイプの印刷ジョブとは、すなわち、受信後にプリンタオペレータの介入なく直接印刷しなければならない自動印刷ジョブ、およびプリンタは受信してメモリに記憶するだけであつて、オペレータがプリンタの

オペレータ操作盤でこの種の印刷ジョブを選択して印刷コマンドを与えるまでは印刷されない対話式印刷ジョブ（前記特許出願では「遅延印刷ジョブ」と呼ばれる）である。したがって、この機械は、2つのモード、すなわち自発的に（自動）印刷ジョブを実行する自律モード、および複製ジョブ、複写プロセス、または対話式印刷プロセスを実行するコマンド制御モードの1つで作動する。

【0004】デジタル複写機をネットワークプリンタとして使用することは、これらの機械による処理手順に新しい次元を与える。一方で、自分の印刷ジョブを自動印刷のために機械に転送するユーザは、機械が自分の印刷ジョブを直ちに処理する用意ができているかどうかの問題が気にかかり、他方で、ユーザは機械をコマンド制御ジョブ（例えば印刷ジョブ）に利用できるかどうか、作業場所（自分のワークステーション）に居ながらにして、すぐに知ることができる。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】ユーザが複写または対話式印刷を行おうとするとき、自分の選択した機械が空いているか、それとも複写プロセスまたは印刷プロセスに使用されているかを、自分のワークステーション表示画面上で知るだけでなく、「使用」状態に関する情報を詳細に区別することも望ましい。自動印刷ジョブには、他の誰かを妨害することなく、当然、割り込むことができる。そのような印刷ジョブの転送者は通常、自分のプリントをすぐには取りに来ず、他のユーザが印刷プロセスにしばらくの間割り込んだために、これらのプリントができるのが多少遅くなってしまって、これは通常容易に受け入れられる。

【0006】機械がコマンド制御モードで使用される場合、すなわちオペレータが機械のところで忙しくしているので、状況は異なる。その場合、前記オペレータが処理からプリントができるのを待っているので、現在の処理に割り込むことはずっと受け入れにくい。

【0007】

【課題を解決するための手段】本発明は、今、プリンタ制御装置が印刷ジョブを自律モードまたはコマンド制御モードのいずれかで実行するように構成され、かつプログラムが、プリンタが前記自律モードで活動している場合と、プリンタがコマンド制御モードで活動している場合とで異なるアイコンを表示することによって、余分な情報の要求を満たす。

【0008】異なる「使用」状態に対する異なるアイコンは、先行技術に照らして考慮すると、新しい問題に対する新しい解決策である。

【0009】アイコンは自明の形態を持つことが好みしく、したがって、本発明の一実施形態では、コマンド制御「使用」モードのアイコンは、人の形を含む形を取ることが好みしい。

【0010】

【発明の実施の形態】次に本発明について以下の例示の実施形態および添付の図面に関連して説明する。

【0011】図1は、ローカルネットワークNによって接続されたワークステーションWSとプリンタPRとかなるシステムを示す。ワークステーションは、例えばPCであり、各々の場合に処理装置、表示画面、キーボードおよびマウスが備えられる。プリンタは、各々にスキャナと、プリンタと、オペレータ制御装置と、ネットワークに接続するための接続装置（デジタルアクセスコントローラまたはD A C）とを含むデジタル複写機であり、ワークステーションから送られた印刷ジョブを処理する。さらに、プリンタ機能しか有しないが、以下で説明する機能性に適した制御システムをも有する機械を使用することが可能である。これら全ての機械、複写機およびプリンタを以下では「プリンタ」と呼ぶ。ワークステーションから特定のデータファイルを印刷させることを希望するユーザは、そのために、システムのいくつかのプリンタ、または全部のプリンタから選択することができる。

【0012】プリンタと通信し、それに関する情報をユーザに提示するために、接続された各ワークステーション内で作動するソフトウェアがあり、これを以下では「デスクトップソフトウェア」と呼ぶ。このプログラムは個人化される。すなわち、これは起動時にユーザ自身を識別し、ユーザの許可コードを入力したただ1人のユーザの命令で作動する。

【0013】デスクトップソフトウェアを以下では略して「デスクトップ」とも呼ぶが、これは、図2のブロック100に概略的に示すいくつかのサブプログラムから構成される。デスクトップソフトウェアの中核は、「仮想プリンタ」と表示されたサブプログラムによって形成され、これは接続されたプリンタと通信し、ワークステーションユーザにとって重要な限り、これらのプリンタの各々の性質および状態を更新する。以下の記述で説明するように、ユーザは、接続されたプリンタの状態およびそこで処理されるべき印刷ファイルに関して、どれだけの情報をいつ表示させたいかを選択することができる。デスクトップソフトウェアとプリンタとの間での

これらの問題に関するデータの交換は、ユーザの要件にとって重要なものに限定される。これにより、ネットワークに必要以上に負荷がかかることがなくなり、さらに、関連情報だけがワークステーション内に存在し、それを処理するだけでよいので、ワークステーションの処理能力に必要以上に負荷がかかることがない。

【0014】「仮想プリンタ」プログラムは、以下で「ユーザインターフェース」（UI）と呼ぶオペレータ制御プログラムを備えており、これはユーザとデスクトップソフトウェアとの間の通信をユーザに理解できる方法で、キーボードのキーストロークや表示画面上のウィン

ドウの形で制御するものであり、そのウィンドウ内には情報が提示され、またユーザがマウスの動きによって要素を選択しその動作を制御することができる。デスクトップソフトウェアはまた、ネットワークを介したプリンタとの間のデータ転送を制御する通信プログラムCOMを備えている。

【0015】図2のブロック200に、プリンタのDAC中の通信ソフトウェアの概略図を示す。これは、具体的には、プリンタ自体およびプリンタで処理中の印刷ジョブに関する状態情報などのデジタル情報をワークステーションとの間で送受するための「情報サーバ」ISによって形成される。情報サーバは、各デスクトップが必要とする情報に関するデータを更新し、本当に必要な情報だけを必要な時に送信する。情報サーバはまた、ネットワークを介したデスクトップとの間でのデータ転送を制御するための通信プログラムCOMを備えている。

【0016】プリンタによって印刷するためにネットワークを介してプリンタに伝送されるデジタルデータのファイルは、第1のタイプまたは第2のタイプのいずれかである。以下で自動印刷ジョブと呼ぶ第1のタイプのファイルは、直接、すなわち、オペレータがプリンタで追加の処置を行なうことなく、印刷しなければならないが、以下で対話式印刷ジョブと呼ぶ第2のタイプのファイルは、プリンタメモリに記憶しなければならないだけであり、オペレータがプリンタのところでオペレータ制御手段を使用して選択することによって明示的に要求するまで印刷してはならない。ファイルに付加される属性は、関連するファイルのタイプを示す。

【0017】第1のタイプのデータファイルの処理を、この記述では自動印刷(AP)と呼ぶ。

【0018】第2のタイプのデータファイルの処理を、以下では対話式印刷(IP)と呼ぶ。この手順は次の通りである。

【0019】対話式印刷によって印刷するために、ネットワークを介してワークステーションによって伝送されるデータファイルは、DACによって受け取られる。これは、所有者の名前およびファイル自体の名前など、いくつかの予め定められた識別データをファイルから抽出する。次にファイルは変更されずにそのまま、プリンタ内の記憶装置、例えばハードディスクに記憶され、その後機械はこのジョブに関して待機状態に移る。

【0020】DACは、記憶された印刷すべき全てのデータファイルの識別データを含む管理システムを管理する。ネットワークを介して新しいファイルが供給されると、DACはその識別データを所有者／送信者の名前で管理システムに追加する。

【0021】ディスクはDACの前記管理システムと共に、いわば、データファイルのための一組の「論理記憶空間」を形成し、各論理記憶空間は1人のユーザに割り当てられる。したがって、ユーザの論理記憶空間における

記憶とは実際には、ファイルはディスクに記憶され、そのユーザの名前で管理システムに登録されることを意味する。論理記憶空間は、所有者／ユーザに固有のコードによって保護することができる。すなわち、実際問題として、オペレータは、プリンタのオペレータ制御手段を介してこのコードを入力した後でなければ、特定の論理記憶空間に記憶されたファイルの情報を入手することはできない。

【0022】オペレータがここで特定の対話式印刷ファイルを印刷させたい場合、オペレータはプリンタオペレータ操作盤によってそのファイルを選択し、起動キーを作動させることによって印刷コマンドを与えなければならない。それに応答してデータファイルがディスクから取り出され、印刷可能なデータに変換され、これがプリンタによって処理されてプリントを形成する。対話式印刷ファイルは、送信者がコードによって保護することができる。このコードは、印刷ファイルの属性の形式である。ユーザがこのファイルを対話式に印刷したい場合、ユーザはファイルを印刷する前にオペレータ操作盤からセキュリティコードを打ち込まなければならない。

【0023】データファイルを対話式に印刷し終わったとき、それは原則的に、ユーザ自身によって、またはプリンタ管理者によって除去されるまで、ディスクに記憶され、かつ管理システムに登録されたままである。

【0024】プリンタ管理者は、機械を自動印刷ジョブが受け入れられないモードにすることができる。その場合、入力自動印刷ジョブは、プリンタによって対話式印刷ジョブに変換され、ディスクに記憶される。

【0025】すでに述べた通り、このシステム内の少なくともいくつかのプリンタは事实上デジタル複写機であり、原本を走査し、それによって生成されたデジタル画像データを印刷することによって、原本のコピーを作成することもできる。

【0026】したがって、機械のユーザ自身によって開始されるジョブ(印刷ジョブおよび対話式印刷ジョブ)および離れた場所から、例えばワークステーション(PC)から供給されるジョブ(自動印刷ジョブ)がある。前者の場合、プリンタは、オペレータ操作盤からの開始コマンドに応答して複製プロセスを始動するコマンド制御モードで作動するが、後者の場合、プリンタは、自発的に複製プロセスを始動する自律モードで作動する。

【0027】機械のところでキーによってジョブを始動するためにそこに行ったユーザは、自分のジョブを始動しようとした矢先に遠隔始動された自動印刷ジョブが始まつた場合、非常にフラストレーションを覚える。その後、ユーザは自分のコピーを作成できるようになる前に、遠隔始動されたジョブが終了するまで待たなければならず、または少なくとも「割込み」機構によってそのジョブを中断しなければならない。これは、実際には、特に頻繁に使用される機械では頻繁に発生し、結果的に

煩わしさや遅れを生じる。

【0028】機械におけるユーザの立場をできるだけ保護するために、機械におけるオペレータによる物理的相互作用に応答して、機械はコマンド制御モードに移るか、予め定められた第1の待ち時間だけそのモードのままである。この待ち時間中、機械は自律モードに移ることができない。これは、機械のところで、何らかの対話によって、例えばキーを起動するか、または複数の文書を機械の給紙トレーに配置することによって、ユーザ自身がそのジョブを急がずに始動するための時間を作る機会をユーザに提供する。

【0029】さらに、コマンド制御モードでジョブの実行が終了した後、機械は予め定められた第2の待ち時間だけコマンド制御モードのままである。

【0030】したがって、ユーザがさらにコピーまたは対話式印刷ジョブを続けたい場合に、自動印刷ジョブに先を越されることがない。また、前記第2の待ち時間中にも、機械は自律モードに移行できない。第2の待ち時間は第1の待ち時間と等しくすることができる。待ち時間の実際の値は、例えば30秒から2分である。

【0031】次に、上述のデスクトップソフトウェアについてさらに説明する。

【0032】デスクトップソフトウェアは、次のモジュールを含む。

【0033】全ての利用可能な接続されたプリンタの概要とそれらの状態の表示（以下、装置概要と呼ぶ）

現在の印刷ジョブの概要と各ジョブの設定における介入の可能性（以下、ジョブ制御と呼ぶ）

現在の印刷ジョブの進捗に関する情報提示（以下、ジョブ監視と呼ぶ）

デスクトップソフトウェアの3つのモジュールによって提示されるモード情報は動的である。すなわち、提示されたモードに変化があれば、ただちに直接改定される。

【0034】デスクトップソフトウェアは個人化される、したがって情報の提示および制御の可能性は、1人の特定のユーザの希望に向けられることに再び留意されたい。

【0035】上述の3つのプログラムモジュールは、ワークステーション表示画面上でデスクトップソフトウェアを選択したときに表示される一般開始メニューから始動することができ、それについて次に順次説明する。

【0036】図3は、ユーザがデスクトップソフトウェアで「装置概要（Device Overview）」オプションを選択した後、ワークステーション表示画面上に表示されるウィンドウ10を示す。このウィンドウは、各プリンタについて、そのプリンタの状態を示す記号を表示する。この例を図3に示す。さらに、各記号にプリンタの短い説明が付いているので、どのプリンタが関係しているかが明瞭である。

【0037】第1の記号11は、プリンタの標準化され

たイラストである。この記号は、当該のプリンタが印刷ジョブに利用でき、現在遊休状態であることを示す。第2の記号12はプリンタとその上に重ねられた用紙の山を示しており、この機械が自律モードで自動印刷ジョブに従事していることを示す。記号13はプリンタとその前にいる人を示しており、その機械がコマンド制御モードであり、したがって印刷ジョブまたは対話式印刷ジョブのいずれかに従事しているか、または上述の第1のまたは第2の待ち時間中であり、この間自動印刷ジョブを始動できないことを示す。記号14は、プリンタとその上に重ねられた警告板のイラストであり、このプリンタが誤動作状態であることを示す。記号15は、細部を省いたプリンタのイラストであり、このプリンタは接続されているが、現時点では印刷ジョブや印刷ジョブに利用できないことを示す。

【0038】これらの記号から、ユーザは自分の印刷ジョブをどのプリンタに転送すべきか、いつ印刷ジョブまたは対話式印刷ジョブを実行したいか、選択した機械が空いているかどうかを判断することができる。「割込み」モードで印刷ジョブまたは対話式ジョブを実行するために、ユーザが機械のところで自動印刷ジョブを作動中に難なく停止することができるが、機械のところで別のユーザをバスするには、より説得力のある理由が必要になるので、使用状態、すなわち自律モードでの使用、コマンド制御モードでの使用の区別表示は特に便利である。

【0039】ユーザは記号の1つを選択し、したがってプリンタの1つを選択し、次いでウインドウのトップバーのメニューかポップアップメニュー、またはマウス右ボタンのいずれかにより、以下の機能の1つを呼び出すことができる。

【0040】関係するプリンタの待機中の印刷ジョブを表示する。この機能では、自動印刷ジョブおよび対話式印刷ジョブが別個に表示され、これらを操作することもできる。この機能は「ジョブ制御」プログラムモジュールの一部分を形成するものであり、そこで詳しく説明する。この機能は、プリンタ記号をマウスでダブルクリックして呼び出すことができる。

【0041】関係するプリンタの性質および状態を表示する。

【0042】作業中に関係するプリンタの状態に関する情報を表示画面上に提示する監視機能を呼び出す。

【0043】関係するプリンタをデフォルトプリンタと定義する。

【0044】プリンタの性質と状態が表示される上述の機能では、この情報を含むウィンドウが表示画面上に表示され、情報は、図4A、図4B、および図4Cに示すようにそれらのタブの選択によって見ることができるようになる3つのタブカードに分散される。プリンタトレーニーの印刷用紙のストックが第1のタブカードに表示さ

れ、プリンタの現在の動作状態が第2のタブカードに表示され、インストールされた機能性に関する情報が第三タブカードに表示される。

【0045】上述の監視機能の選択に応じて、ワークステーション表示画面上に、ユーザが好みのプリンタ状態データの表示形式を設定できるウインドウが表示される(図5参照)。主として2通りの表示形式がある。すなわち、画面上の永続的アイコンによる(「アイコンによる」)ものと、プリンタ状態の変化が発生したときに画面上に表示されるメッセージによる(「警告による」)ものである。

【0046】アイコンによる監視を設定した場合、アイコンは、まさに図3に示すような状態の記号イラストを表示する。そのようなアイコンの例を図6Aに示す。ユーザはまた、さまざまなプリンタの状態を同時に維持させることもできる。その場合、画面は、図6Bに示すように各々の監視されたプリンタのアイコンを表示する。アイコンをマウスでダブルクリックすることにより、関係するプリンタの待機中の印刷ジョブを表示する機能が呼び出される。この点について、再び「ジョブ制御」プログラムモジュールの説明を参照する。

【0047】監視がメッセージによる場合、ユーザは、メッセージを受け取りたい状態の変化を指示し、したがって不必要なレポートを回避することができる。このタイプのメッセージの例を図7に示す。

【0048】図8は、ユーザが現在の印刷ジョブの概要を保持するためにデスクトップソフトウェアの「ジョブ制御」オプションを選択した後のワークステーション表示画面の関連レイアウトを示す。

【0049】ここにいくつかのウインドウ20A、20B、20Cが表示されるが、各々がその時点でユーザの印刷ジョブが存在するプリンタに該当する。したがって、その時点でユーザの印刷ジョブが存在するプリンタの数と同じ数だけ表示されるウインドウがある。この機能が「装置概要」モジュールから呼び出された場合には、そこで選択されたプリンタのウインドウだけが表示される。

【0050】ウインドウ20は、自動印刷ジョブ用の空間21、ユーザの対話式印刷ジョブ用の空間22、およびアクティブ印刷ジョブを指定するための空間23を含む。また、マウスによって操作できるいくつかの「キー」もある。

【0051】空間21には、ユーザの自動印刷ジョブの待ち行列が、それらの状態(待ち行列における番号)、名前、およびセットアップ中にユーザによって選択される他のデータと共に含まれる。空間21の左下のスイッチボックスをクリックすることにより、ユーザは全ての待機中の自動印刷ジョブを、すなわち他のユーザのものを含めて、表示させることもできる。その場合、ユーザ自身のジョブは、その他と区別できるような方法

で、例えば色付きで再生される。ジョブ制御モジュールが特定のプリンタの「装置概要」モジュールから呼び出された場合、全ての待機中の自動印刷ジョブの、すなわち他のユーザのものを含む表示は、デフォルト設定である。

【0052】空間22には、ここではジョブの性質に対する名前を伴うアイコンにより再生された、ユーザの待機中の対話式印刷ジョブの概要が含まれる。これらは待ち行列に入つておらず、ユーザがオペレータ操作盤で10始動するまで実行されない。これらのジョブに関するより多くの情報を得るために、ユーザはそれらを詳細リストに表示させることもできる。

【0053】空間23は、その時点でアクティブな印刷ジョブのデータ、またはアクティブなジョブがない場合にはプリンタの状態(「遊休」、「エラー」)を表示する。この空間には次のデータ、すなわちジョブのタイプ(印刷ジョブ、自動印刷ジョブ、対話式印刷ジョブ)、プリントの枚数、ジョブの所有者の名前、およびジョブの名前が含まれる。空間23の横にキー24があり、これによりアクティブジョブを中断することができる(「打切り」)。

【0054】キー25により、空間22で選択した対話式印刷ジョブを自動印刷ジョブに変換し、空間21の待ち行列に加えることができ、キー26は、空間21で選択した自動印刷ジョブを対話式ジョブに変換し、それを空間22に移動することができる。

【0055】キー27により、空間21または22のいずれかで選択した印刷ジョブの印刷設定を表示することができる。同じ効果は、ジョブ名をマウスでダブルクリックすることによっても達成される。これに応答して、ワークステーション表示画面上にウインドウが開き、全ての設定を表示する。設定をこのウインドウで変更することもできる。

【0056】最後に、空間21または22のいずれかで選択した印刷ジョブを、キー28によって除去することができる。

【0057】上記の機能は、ジョブを選択し、かつウインドウ20の上部のメニューバーの「文書(Document)」メニューから選択することによって、またはジョブ名をマウス右ボタンでクリックしたときに現れるポップメニューで選択することによって呼び出すことができる。

【0058】キー24～28に関連して説明した機能は、ユーザが自分自身の印刷ジョブに対してのみ使用することができる。

【0059】ウインドウ20の上部のメニューバーの「表示(View)」メニューは、次のオプションを提供する。

【0060】自動印刷ジョブの表示形式の選択(表示する情報の選択)

対話式印刷ジョブの表示形式の選択（アイコンかリストか、およびリストを選択した場合、どの情報を表示するか）

（全てのプリンタにおける）ユーザの全ての印刷ジョブ、ジョブが存在するプリンタ、およびすでに終了した印刷ジョブに関するこの情報の表示
この最後の機能について、図9を参照しながら次に説明する。

【0061】この機能を選択すると、ワークステーション表示画面上にウィンドウ30が表示される。このウィンドウ30は、全てのプリンタでまだ終了していない関係するユーザの全ての印刷ジョブのリストが、それらの状態（待機中、使用中、エラー）およびそれらが存在するプリンタと共に表示される空間31を含む。このリストは、自動印刷ジョブおよび対話式印刷ジョブの両方およびそれらのタイプを示す。空間31の印刷ジョブの名前をマウスでダブルクリックすると、そのジョブが存在するプリンタのジョブ制御ウィンドウ（図8）が開くので、ユーザは待ち行列内のジョブの状態（それが自動印刷ジョブの場合）を見ることができ、ジョブを操作することができ、印刷設定を点検および／または変更することができる。

【0062】ウィンドウ30はまた、全てのプリンタで終了した関係するユーザの全ての印刷ジョブのリストを、それを処理したプリンタと共に表示する空間32をも含む。キー33が空間32の下に設けられており、ユーザはマウスをクリックすることによってこれを選択した後、リストから印刷ジョブを除去することができる。

【0063】空間31または32の空間のリストが長すぎて、その空間に収まりきれない場合には、スクロールバーが表れ、それによりウィンドウに収まりきれないジョブにたどり着くことができる。

【0064】空間32の終了した印刷ジョブのリストは、状態の指示も表示することができるが、これはここには示されていない。複数の供給トレーを備えたプリンタの場合、プリンタの機械制御システムはプリントが置かれた供給トレーを知っており、この情報はリストに表示することができる。プリンタはまた、供給トレーにプリントがあるかどうかを決定するセンサをも備えることができる。この場合、機械制御システムは、供給されたプリントの積重ねがトレーから取り出されると、それを知ることもできる。この情報も、空間32のリストに表示することができる。この状態情報は、「供給トレーXに存在する」または「取り出された」の形式を取ることができる。

【0065】この機能により、ユーザは自分の印刷ジョブが待ち行列のどこにあるか、あるいは自分のプリントがどこに置かれているかを常に知ることができ、これは、特にいくつかのプリンタが使用される環境では極めて便利である。

【0066】監視機能はまた、システム内の全プリンタの指定された部分集合についてだけ作動することもできる。これは、システムを構成するときに、またはプログラムのセットアップ機能により設定することができる。

【0067】ジョブ制御ウィンドウ20の上部のメニュー一覧の「監視（monitor）」メニューは、関係するプリンタにおける関係するユーザの印刷ジョブの監視機能を起動させる機会を提供する。この機能は、デスクトップソフトウェアの開始メニューから呼び出すこともでき、以下で説明する。

【0068】監視機能は、ユーザに自分の自動印刷ジョブの状態について知らせ続けるためのものである。これは全ての現在のジョブ、またはユーザによって選択されたジョブの一部に対して機能することができる。

【0069】監視機能には次の3つのモードがある。

【0070】第1のモード（「アクティブ」）：集合のうち終了していないジョブがまだ少なくとも1つある。まだ終了していないジョブの数も含まれる。

【0071】第2のモード（「パッシブ」）：集合の全てのジョブが終了したか、または集合が空である。

【0072】第3モード（「エラー」）：ジョブの1つがエラーを引き起こした。

【0073】デスクトップソフトウェアの開始メニューの監視機能の選択に応答して、ワークステーション表示画面上に、ユーザが監視機能に1つ、複数または全部のプリンタを選択できるウィンドウが表示される。これを図10に示す。ユーザが「OK」をマウスでクリックした後、ワークステーション表示画面上に、ユーザが自分の個人用印刷ジョブの状態の表示形式の好みを設定できるウィンドウが表示される（図11参照）。表示形式は主として2通りある。すなわち、画面上の永続的アイコンによる（「アイコンによる」）ものと、その状態に変化があったときに画面上に現れるメッセージによる（「警告による」）ものである。後者の場合、ユーザはメッセージを受け取りたい状態の変化を指示し、それにより不必要なレポートを避けることができる。

【0074】ユーザが好みを入力し、「OK」キーを押すと、その後、機能が起動する。アイコンモードを選択した場合、ここでアイコンが表示画面上に表示される。

【0075】ジョブ監視をジョブ制御から起動すると、図10の選択ウィンドウは省かれ（ジョブ制御ウィンドウのプリンタは自動的に選択される）、すぐに図11のウィンドウが表示される。

【0076】図12は監視アイコンを示す。それがアクティブになっているプリンタの名前の他に、アイコンは、そのプリンタにおけるユーザの印刷ジョブの集合の状態を示す記号を含む。この例では、上述の3つの状態に対して、次の記号が表示される。

【0077】第1の状態（「アクティブ」）の場合：文書とペンのイラスト

第2の状態（「パッシブ」）の場合：文書のイラスト
第三状態（「エラー」）の場合：文書の前の警告板
監視機能によって監視される印刷ジョブの上記集合は、
関係するプリンタにおけるジョブの完全な集合とすること
ができるが、別法として部分集合とすることもでき
る。この部分集合は、ジョブ制御ウィンドウ20の空間
21で、必要な印刷ジョブをマウスでクリックした後、
メニューバーの監視メニューをクリックすることによつ
てのみ選択することができる。ジョブ監視機能がデスク
トップソフトウェアの開始メニューから呼び出される場
合、集合は常に全てのジョブを含む。監視機能は動的で
ある。すなわち、印刷ジョブを監視される集合に追加す
ることができる。

【0078】監視アイコン上でのマウスのダブルクリック
に応答して、関係するプリンタのジョブ制御ウィンド
ウが開くので、ユーザは自分のジョブの完全な状態を点
検することができる。

【0079】複数のアイコンを同時に表示画面上に表示
することもできるので、ユーザはさまざまな集合または
プリンタの状態を同時に点検することができる。

【0080】「警告による」モードが選択された場合、
集合からの印刷ジョブの状態のユーザによって選択され
た変化があったとき場合のみ、メッセージウィンドウが
現れる。そのようなウィンドウの一例を図13に示す。

【0081】上述の実施形態では、デスクトップソフト
ウェアはワークステーションに前もって記憶される。変
形形態では、デスクトップソフトウェアはフロッピーデ
ィスクやCD-ROMディスクなど記憶媒体に記憶さ
れ、その場合ユーザがデスクトップソフトウェアを情報
処理システムのワークステーションにインストールでき
るように記憶媒体はユーザに供給される。

【0082】他の実施形態では、デスクトップソフトウ
ェアは情報処理システムのワークステーションにインス
トールできるようにインターネットその他のネットワー
クを介して伝送される。

【0083】以上、本発明について上記の例示の実施形
態に関連して説明したが、請求の範囲の文言の範囲内
で他の実施形態が可能であることは当業練者には明白であ
ろう。それらは本特許の保護の範囲内に含まれるものと
する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明が位置する情報処理システムを示す図で
ある。

【図2】本発明によるソフトウェアの概略図である。

【図3】本発明によるソフトウェアによってワークステ
ーション表示画面上に表示される情報ウィンドウを示す
図である。

【図4A】本発明によるソフトウェアによってワークス

テーション表示画面上に表示される情報ウィンドウを示
す図である。

【図4B】本発明によるソフトウェアによってワークス
テーション表示画面上に表示される情報ウィンドウを示
す図である。

【図4C】本発明によるソフトウェアによってワークス
テーション表示画面上に表示される情報ウィンドウを示
す図である。

【図5】本発明によるソフトウェアによってワークス
テーション表示画面上に表示される情報ウィンドウを示
す図である。

【図6A】本発明によるソフトウェアによってワークス
テーション表示画面上に表示される情報ウィンドウを示
す図である。

【図6B】本発明によるソフトウェアによってワークス
テーション表示画面上に表示される情報ウィンドウを示
す図である。

【図7】本発明によるソフトウェアによってワークス
テーション表示画面上に表示される情報ウィンドウを示す
図である。

【図8】本発明によるソフトウェアによってワークス
テーション表示画面上に表示される情報ウィンドウを示す
図である。

【図9】本発明によるソフトウェアによってワークス
テーション表示画面上に表示される情報ウィンドウを示す
図である。

【図10】本発明によるソフトウェアによってワークス
テーション表示画面上に表示される情報ウィンドウを示す
図である。

【図11】本発明によるソフトウェアによってワークス
テーション表示画面上に表示される情報ウィンドウを示す
図である。

【図12】本発明によるソフトウェアによってワークス
テーション表示画面上に表示される情報ウィンドウを示す
図である。

【図13】本発明によるソフトウェアによってワークス
テーション表示画面上に表示される情報ウィンドウを示す
図である。

【符号の説明】

40 A P 自動印刷

C O M 通信プログラム

D A C デジタルアクセスコントローラ

I P 対話式印刷

N ローカルネットワーク

P R プリンタ

U I ユーザインターフェース

W S ワークステーション

【図1】

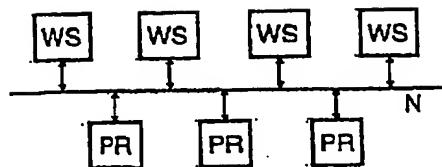


FIG. 1

【図2】

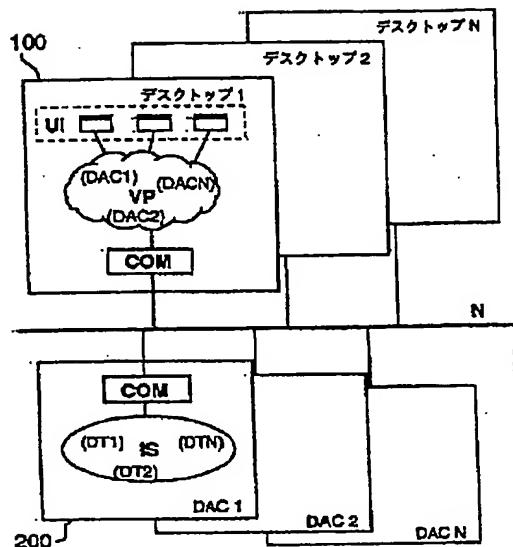


FIG. 2

【図3】

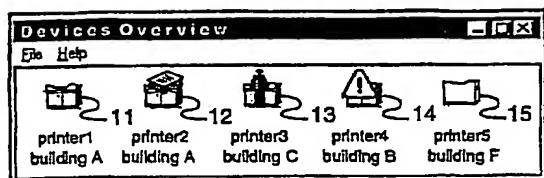


Fig. 3

【図4A】

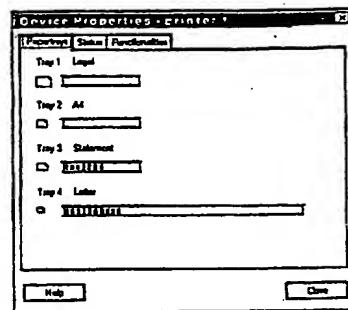


FIG. 4A

【図4B】

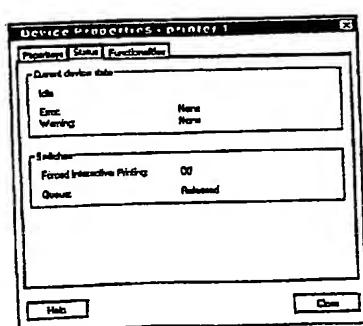


FIG. 4B

【図4C】

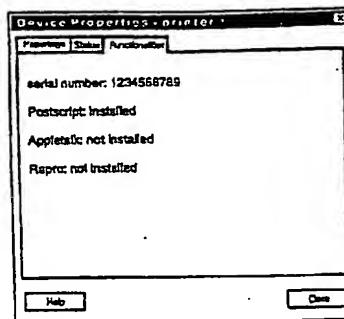


Fig. 4C

【図6A】



Fig. 6A

【図7】

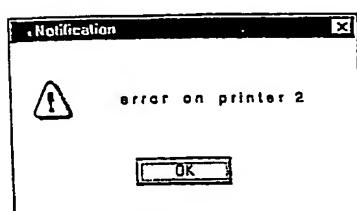


Fig. 7

【図5】

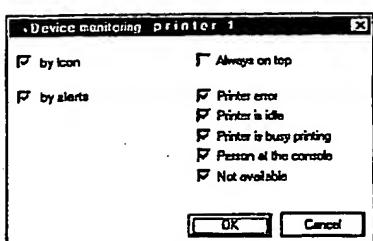


Fig. 5

【図6B】

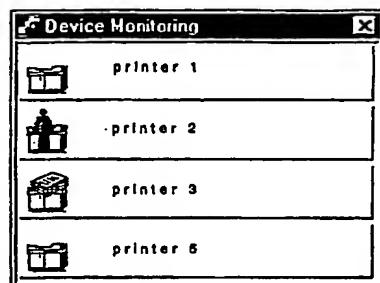


Fig. 6B

【図8】

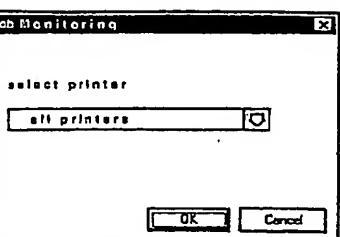
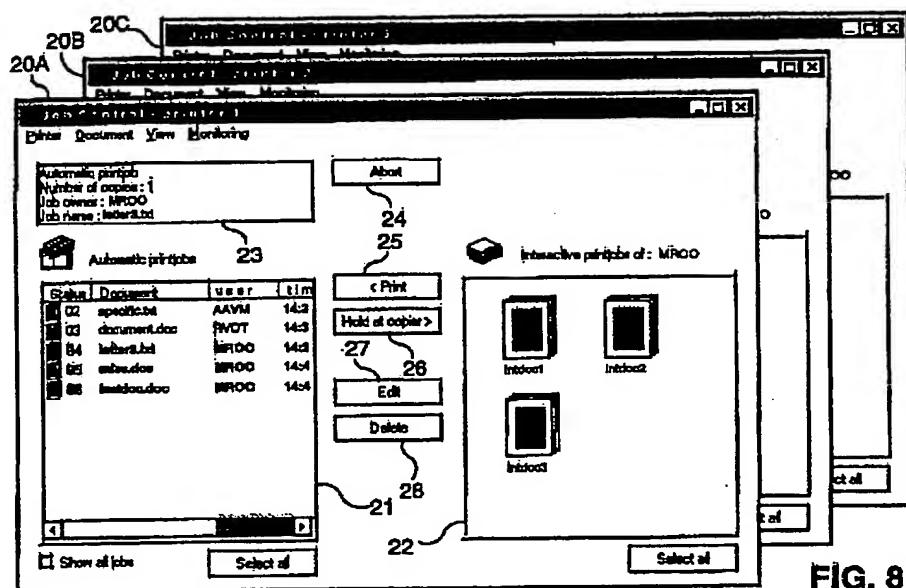


Fig. 10

FIG. 8

【図9】

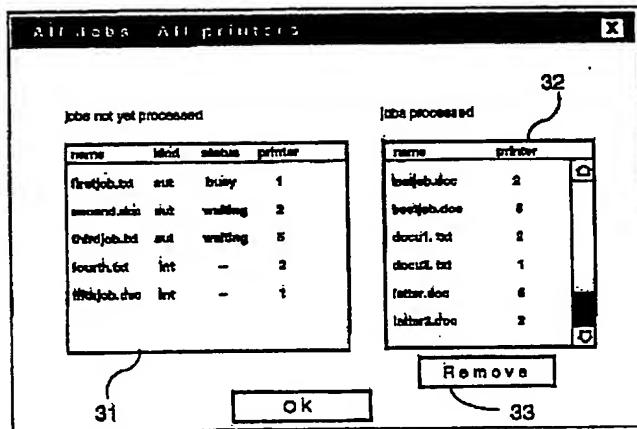


Fig. 9

【図11】

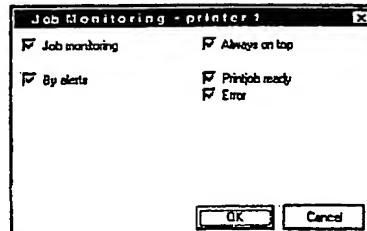


Fig. 11

【図 12】

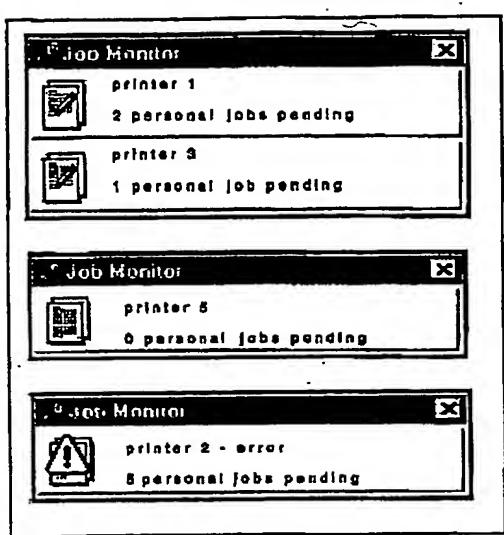


Fig. 12

【図 13】

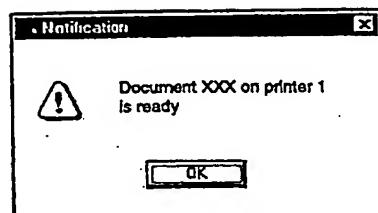


Fig. 13

フロントページの続き

(72)発明者 テオドア・ヨハネス・マリー・ウイルバース

オランダ国、5931・エス・ティー・テヘレン、アフリモニエ・11

(72)発明者 ヤニー・ドレツテ・ファン・ハーウアーデン

オランダ国、2585・セー・エス・デン・ハーグ、スマトラストラート・4

(72)発明者 ヨハネス・フランシスクス・マリア・エリザベス・ヘーレン

オランダ国、5991・アー・フェー・パールロ、フローテストラート・37

(72)発明者 ルネ・フランソワーズ・アルベル・コラート

オランダ国、6591・ティー・ティー・ヘンネブ、コンドルストラート・2

【外國語明細書】

1. Title of Invention

Presentation of printer status in an information-processing system

2. Claims

1. An information-processing system comprising

at least one workstation provided with a processor unit, a screen and operator control means such as a keyboard and mouse,

at least one printer provided with a control unit and an operator control panel, and

a digital network to which the workstations and the printers are connected,

wherein a workstation is provided with a program for communication with a printer for sending print jobs to said printer and calling up or receiving status information concerning said printer,

which program comprises means for displaying on the workstation screen in the form of a symbolic illustration or icon current status information concerning the said printer,

characterised in that

the control unit of the printer is adapted to execute print jobs in either an autonomous mode or a command-controlled mode,

the control unit in the autonomous mode starting the execution of a print order on its own initiative while in the command-controlled mode it starts the execution of a reproduction process, including a print order, in response to a start command from the operator control panel of the printer,

and in that the program displays different icons for the cases in which the printer is active in the said autonomous mode and in which the printer is active in the said command-controlled mode.

2. A system according to claim 1, wherein a reproduction process in the command-controlled mode is formed by a copying process, in which an original document is scanned by a scanner present in the printer and digital image data are generated, and a print is made using the said digital image data.

3. A system according to claim 1 or 2, wherein a reproduction process in the command-controlled mode is formed by an interactive printing process, in which a print file which has been sent via the network and stored in a storage unit in the printer is selected by an operator using the operator control panel and is printed in response to a

print command following upon the selection.

4. A system according to claim 1, wherein the icon for the command-controlled mode contains a human figure.

5. A computer-readable storage medium having a program recorded thereon, which is used for an information processing system comprising:

at least one workstation provided with a processor unit, a screen and operator control means such as a keyboard and mouse,

at least one printer provided with a control unit and an operator control panel, and a digital network to which the workstations and the printers are connected,

wherein the control unit of the printer is adapted to execute print jobs in either an autonomous mode or a command-controlled mode,

the control unit in the autonomous mode starting the execution of a print order on its own initiative while in the command-controlled mode it starts the execution of a reproduction process, including a print order, in response to a start command from the operator control panel of the printer,

wherein the program is to make the workstations operate as means for displaying on the workstation screen in the form of a symbolic illustration or icon current status information concerning the said printer,

wherein the program displays different icons for the cases in which the printer is active in the said autonomous mode and in which the printer is active in the said command-controlled mode,

in order to communicate with a printer for sending print jobs to said printer and calling up or receiving status information concerning said printer.

3. Detailed Description of Invention

The invention relates to an information-processing system comprising:
at least one workstation provided with a processor unit, a screen and operator control
means such as a keyboard and mouse,
at least one printer provided with a control unit and an operator control panel, and
a digital network to which the workstations and the printers are connected,
wherein a workstation is provided with a program for communication with a printer for
sending print jobs to said printer and calling up or receiving status information
concerning said printer,
which program comprises means for displaying on the workstation screen in the form of
a symbolic illustration or icon current status information concerning the said printer.

A system of this kind is known from EP-A 0 398 648. In this known system the
status of application programs, including a printer application, is displayed by means of
icons on the screen at the workstations. When the status of an application changes,
the icon of that application is dynamically adjusted in this system, by the addition of a
different icon.

In Applicants' patent application EP-A 0 814 424, a digital copying machine is
described comprising a scanner and a printer section, wherein the printer section can
also be used as a network printer. This machine is adapted to receive and process two
types of print jobs from a workstation coupled to the network, namely automatic print
jobs which, after receipt, must be printed directly and without the intervention of a
printer-operator, and interactive print jobs (referred to as "deferred print jobs" in the
said patent application), which are only received by the printer and stored in a memory,
but are not printed, unless an operator selects on the printer operator control panel a
print job of this kind and gives a print command. This machine thus operates in one of
two modes, namely an autonomous mode in which at its own initiative it executes an
(automatic) print job, and a command-controlled mode, in which it executes a
reproduction job, a copying process or an interactive print process.

The use of digital copying machines as network printers gives a new dimension
to procedure with these machines. On the one hand, a user who sends his print job to
the machine for automatic printing thereby is interested in the question whether the

machine is ready to process his print job immediately, and on the other hand the user can immediately see at his workplace (at his workstation) whether the machine is available for a command-controlled job (e.g. a copying job).

When a user intends to make a copy or an interactive print, it is not only desirable that he should see on his workstation screen whether the machine of his choice is free or occupied in a copying or printing process, but also to differentiate in detail the information concerning the "occupied" state. An automatic print job can of course be interrupted without obstruction to someone else. The senders of such print jobs usually do not come to fetch their prints immediately, and if these prints are ready somewhat later, because another user has interrupted the printing process for some time, this will usually be readily accepted.

Conditions are different if the machine is occupied in the command-controlled mode, namely because an operator is busy at the machine. In that case it is much less acceptable to interrupt the current process because the said operator is waiting for the prints from that process.

The invention now meets the demand for extra information, by the fact that the printer control unit is adapted to execute print jobs in either an autonomous mode or a command-controlled mode, and the program displays different icons for those cases in which the printer is active in the said autonomous mode and those in which the printer is active in the said command-controlled mode.

A different icon for different "occupied" states is a new solution to a new problem, considered in the light of the prior art.

Preferably, an icon has a form which is self-evident, and hence according to one embodiment of the invention the icon for the command-controlled "occupied" mode is preferably in a form which contains a human figure.

The invention will now be explained by reference to the following exemplified embodiment and the accompanying drawings.

Fig. 1 shows a system of workstations WS and printers PR connected by a local network N. The workstations are, for example, PC's and are in each case equipped with a processing unit, a screen, a keyboard and a mouse. The printers are digital

copying machines, each comprising a scanner, a printer, an operator control unit and a connection unit (Digital Access Controller or DAC) for connection to the network and processing print jobs sent from the workstations. In addition it is possible to use machines which only have a printer function but also have a control system adapted to the functionality described hereinafter. All these machines, copying machines and printers, are hereinafter referred to as "printer". Users wishing to have a specific data file printed from their workstation, can for the purpose choose from a number of, or even all, the printers of the system.

For the purpose of communication with the printers and the presentation of information relating thereto to the users, there is operative in each connected workstation a program which is hereinafter referred to as "desktop software". This program is personalised, i.e., it works on the instructions of just one user who on starting up has identified himself and input his authorisation code.

The desktop software, hereinafter also referred to as "desktop" for short, is built up from a number of sub-programs diagrammatically illustrated in block 100 in Fig. 2. The core of the desktop software is formed by a sub-program indicated by "virtual printer", which communicates with the connected printers and updates the properties and status of each of these insofar as this is of interest to the workstation user. As will be explained in the following description, a user can choose how much information he wants to have presented concerning the state of connected printers and the printing files to be processed thereon and at what time. The exchange of data concerning these matters between the desktop software and the printers is limited to what is essential for the user's requirements. This prevents the network from being loaded more than is necessary and in addition the processing capacity of the workstation is not loaded more than necessary, since only the relevant information is present in the workstation and has to be processed.

The "virtual printer" program is provided with an operator control program, hereinafter referred to as "user interface" (UI), which controls the communication between the user and the desktop software in a manner understandable to the user, in the form of key strokes on the keyboard and windows on the screen, in which windows information is presented and in which the user can select and control the operation of elements by means of mouse movements. The desktop software is also provided with a communication program COM for controlling data transport from and to the printers via the network.

Block 200 in Fig. 2 gives a diagrammatic illustration of the communication software in the DACs of the printers. This is formed particularly by an "information server" IS, which is intended to receive from and send to workstations digital information such as status information concerning the printer itself and the print jobs that the printer is processing. The information server updates data concerning the information required by each desktop and transmits only that information which is really required, and at the time at which it is required. The information server is also provided with a communication program COM for controlling data transport from and to the desktops via the network.

Files of digital data which are transmitted to a printer via the network for printing by the printer are either of a first or a second type. Files of the first type, hereinafter referred to as automatic print jobs, are required to be printed directly, i.e. without further action by an operator at the printer, while files of the second type, hereinafter referred to as interactive print jobs, must only be stored in the printer memory and must not be printed until an operator at the printer explicitly so requests there by selection with the aid of the operator control means. An attribute added to the file shows the type of file involved.

Processing of a data file of the first type is referred to in this description as automatic printing (AP).

Processing of a data file of the second type is hereinafter referred to as interactive printing (IP). The procedure with this is as follows.

A data file for printing by interactive printing and transmitted by a workstation via the network is received by the DAC. This extracts from the file a number of predetermined identification data, such as the name of the owner and the name of the file itself. The file is then stored unchanged on a storage unit, e.g. a hard disk, in the printer, whereafter the machine passes to the stand-by state in respect of this job.

The DAC manages an administration system containing the identification data of all the data files for printing which are stored. If a new file is supplied via the network, the DAC adds the identification data thereof in the name of the owner/sender to the administration system.

The disk together with the said administration system of the DAC form, as it were, a set of "logic storage spaces" for data files, each logic storage space being allocated to one user. Thus in actual fact storage in a user's logic storage space means that the file is stored on the disk and registered in the administration system in the name of that

user. A logic storage space can be protected by a code specific to the owner/user, i.e. in practice an operator can obtain information over the files stored in a specific logic storage space only after he has input this code via the operator control means of the printer.

If an operator now wishes to have a specific interactive print file printed, then he must select that file by means of the printer operator control panel and give a print command by actuating a start key. In response thereto the data file is brought up from the disk and converted to printable data, which are processed by the printer to form a print. An interactive print file can be protected by the sender by means of a code. This code is in the form of an attribute to the print file. If a user wishes to print this file interactively, he must key in the security code at the operator control panel before the file is printed.

When a data file has been interactively printed, it remains in principle stored on the disk and registered in the administration system until it is removed by the user himself or by the printer manager.

The printer manager can bring the machine into a mode in which automatic print jobs are not accepted. In that case, incoming automatic print jobs are converted by the printer into interactive print jobs and stored on the disk.

As already stated, at least a number of the printers in this system are in fact digital copying machines, which can also make a copy of an original document by scanning it and printing the digital image data generated thereby.

There are therefore jobs which are started by a user at the machine itself (copy jobs and interactive print jobs) and jobs which are fed from a distance, e.g. from a workstation (PC) (an automatic print job). In the former case, the printer operates in a command-controlled mode in which the machine starts a reproduction process in response to a start command from the operator control panel, while in the latter case it operates in an autonomous mode in which the machine starts a reproduction process on its own initiative.

A user who has gone to the machine in order to start a job there by means of the keys finds it very frustrating if a remote-started automatic print job begins just before he wants to start his job. He then has to wait until the remote-started job is finished, or he must at least interrupt that job by means of an "interrupt" mechanism, before he can make his copy. This frequently occurs in practice, particularly at a machine which is frequently used, and results in annoyance and delay.

In order to protect the position of the user at the machine as much as possible, the machine passes into the command-controlled mode in response to a physical interaction by an operator at the machine, and/or remains there for a predetermined first waiting period. During this waiting period, the machine cannot pass into the autonomous mode. This offers the user at the machine the opportunity of creating, by any interaction, e.g. by actuating a key or placing one or more documents in the machine feed tray, time for himself in order to start his job unhurriedly.

In addition, on completion of the execution of a job in the command-controlled mode, the machine remains in the command-controlled mode for a predetermined second waiting time.

Thus if the user wishes to process further copying or interactive print jobs, he will not be overtaken by an automatic print job. Also during the said second waiting period, the machine cannot pass to the autonomous mode. The second waiting period can be equal to the first. A practical value for waiting periods is, for example, 30 seconds to 2 minutes.

The above-mentioned desktop software will now be described further.

The desktop software comprises the following modules:

- An overview of all available connected printers with an indication of their status (hereinafter referred to as: Devices Overview)
- An overview of current print jobs with the possibility of intervening in the settings for each job (hereinafter referred to as: Job Control)
- Information provision concerning the progress of current print jobs (hereinafter referred to as: Job Monitoring).

The mode information presented by the three modules of the desktop software is dynamic, i.e. it is adapted directly as soon as there is any change in the presented mode.

It should again be noted that the desktop software is personalised and that the information provision and control possibilities are therefore directed towards the wishes of one specific user.

The three program modules referred to can be started from a general start menu which appears when the desktop software is selected on the workstation screen, and will now be described in sequence.

Fig. 3 shows a window 10 which is displayed on the workstation screen after the

user has selected the option "Devices Overview" in the desktop software. This window displays for each printer a symbol indicating the status of that printer. Examples of this are shown in Fig. 3. In addition, each symbol has a short description of the printer so that it is clear which printer is involved.

A first symbol 11 is a stylised illustration of the printer. This symbol indicates that the printer in question is available for print jobs and is at the moment idle. A second symbol 12 shows the printer with a stack of papers over it and indicates that this machine is occupied with an automatic print job in the autonomous mode. Symbol 13 shows the printer with a person in front of it, to indicate that the machine is in the command-controlled mode and hence either occupied with a copy job or an interactive print job or is in the above-described first or second waiting period, in which no automatic print jobs can start. Symbol 14 is an illustration of the printer with, superimposed thereon, a notice board indicating that this printer is in a malfunction state. Symbol 15 is an undetailed illustration of the printer to indicate that this printer is connected but at the present time is not available for copy jobs or print jobs.

From these symbols a user can determine which printer he should send his print job to, and also, when he wishes to carry out a copying or interactive print job, whether the chosen machine is free. Particularly convenient is the differentiated indication of the occupied state, i.e. occupation in the autonomous mode and occupation in the command-controlled mode, because an automatic print job can without difficulty be stopped during operation by a user at the machine, in order to carry out a copy job or interactive print job in an "interrupt" mode, but passing another user at the machine will always require more convincing reasons.

The user can select one of the symbols, and hence one of the printers, and then call up one of the following functions either with a menu in the top bar of the window or with a pop-up menu or the right-hand mouse button:

- Displaying the waiting print jobs for the printer concerned; in this function automatic and interactive print jobs are displayed separately and they can also be manipulated. This function forms part of the "Job Control" program module and will be described in detail there. This function can also be called up with a double mouse click on the printer symbol.
- Displaying the properties and status of the printer concerned.
- Calling up a monitor function which during the work gives information on the display screen concerning the status of the printer concerned.

- Defining the printer concerned as the default printer.

In the above-mentioned function in which the properties and status of the printer are displayed, a window with this information appears on the screen, the information being distributed over three tab cards which can be made visible by selection of their tab, as shown in Figs. 4A, B and C. The stock of printing paper in the printer trays is displayed on a first tab card, the current state of operation of the printer is described on the second tab card and information as to the installed functionality is shown on the third tab card.

In response to selection of the above-mentioned monitor function, the workstation screen shows a window in which the user can set his preferences for the form of presentation of the printer status data (see Fig. 5). There are two main forms of presentation, namely with a permanent icon on the screen ("by icon") and with messages which appear on the screen at the time that a change of printer status occurs ("by alerts").

When monitoring with icons is set, the icon displays a symbolic illustration of the status just as shown in Fig. 3. An example of such an icon is given in Fig. 6A. A user can also simultaneously have the status of different printers maintained. In that case, the screen shows an icon for each monitored printer as shown in Fig. 6B. By a double click of the mouse on an icon the function of displaying the waiting print jobs for the printer concerned is called up. In this connection we would again refer to the description of the "Job Control" program module.

When monitoring is by means of messages, the user can indicate the changes of state for which he wants to receive a message, in order thus to avoid unnecessary reports. An example of a message of this kind is displayed in Fig. 7.

Fig. 8 shows the relevant layout of the workstation screen after the user has selected the "Job Control" option in the desktop software to maintain an overview of current print jobs.

Here a number of windows 20A, B and C are displayed, each applicable to a printer at which a print job of the user is present at that time. Thus there are as many windows displayed as there are printers at which the user's print jobs are present at that time. If this function was called up from the "Device Overview" module, then only the window for the printer selected there would be displayed.

A window 20 contains a space 21 for automatic print jobs, a space 22 for interactive print jobs of the user, and a space 23 for specifying the active print job.

There are also a number of "keys" which can be operated by means of the mouse.

Space 21 contains the queue of automatic print jobs of the user, with their status (number in the queue), name, and other data to be selected by the user during set-up. By clicking on a switchbox on the left beneath the space 21 the user can also have displayed all the waiting automatic print jobs, i.e. including those of other users. In that case his own jobs are reproduced in a manner which is distinguishable from the others, for example in colour. If the Job Control module is called up from the "Devices Overview" module, for a specific printer, the presentation of all the waiting automatic print jobs, i.e. including those of other users, is the default setting.

Space 22 contains an overview of waiting interactive print jobs of the user, here reproduced with icons with a name, which corresponds to the character of the jobs, which are not in a queue but do not become operative until the user starts them on the operator control panel. To obtain more information concerning these jobs, the user can also have them presented in a detailed list.

Space 23 displays the data of the print job which is active at that time, or, if there is no job active, the state of the printer ("idle", "error"). The space contains the following data: type of job (copying job, automatic print job, interactive print job), number of prints, name of the owner of the job, and the name of the job. Next to the space 23 is a key 24, by means of which the active job can be discontinued ("abort").

By means of the key 25, an interactive print job selected in the space 22 can be converted to an automatic print job and be added to the queue in space 21, while the key 26 can convert an automatic print job selected in space 21 into an interactive job and move it to space 22.

By means of key 27, the print settings can be displayed for a print job selected in either of the spaces 21 or 22. The same effect is achieved by double clicking of the mouse on the job name. In response to this, a window is opened on the screen of the workstation, displaying all the settings. The settings can also be changed in this window.

Finally, a print job selected in either of the spaces 21 or 22 can be removed by means of key 28.

The above functions can also be called up by selecting a job and choosing from the "document" menu in the menu bar above the window 20 or by selecting in a pop-menu which appears when the right-hand mouse button is clicked on a job name.

The functions explained with reference to the keys 24 - 28 can be used by the

user only for his own print jobs.

The "View" menu in the menu bar above the window 20 offers the following options:

- Selection of the form of presentation of automatic print jobs (choice of which information is displayed)
- Selection of the form of presentation of interactive print jobs (as icons or in a list and, if a list is chosen, what information is displayed)
- Display of all print jobs of the user (over all the printers), with the printer on which the job is present, plus this information concerning the print jobs that have already been finished.

This latter function will now be explained with reference to Fig. 9.

When this function is selected, the screen at the workstation displays the window 30. This window 30 contains a space 31 in which there is displayed a list of all the print jobs which have not yet been finished for the user concerned, on all the printers, with their status (waiting, busy, error) and the printer at which they are present. This list shows both automatic and interactive print jobs and their type. Double clicking of the mouse on the name of a print job in space 31 opens the Job Control window (Fig. 8) of the printer where the job is present, so that the user can see the status of the job in the queue (if it is an automatic print job), can manipulate the job, and can inspect and/or change the print settings.

The window 30 also contains a space 32 displaying a list of all the finished print jobs of the user concerned, on all the printers, with the printer which processed them. A key 33 is provided beneath the space 32 to enable the user to remove from the list a print job after he has selected this by clicking with the mouse.

If a list is too long in space 31 or 32 to fit in that space, a scroll bar appears by means of which the jobs not fitting in the window can still be reached.

The list of finished print jobs in space 32 can also give a status indication although this is not shown here. In the case of a printer with more than one delivery tray, the printer machine control system knows the delivery tray in which the prints have been deposited and this information can be displayed in the list. The printer can also be provided with sensors to determine whether there are prints in the delivery trays. In that case, the machine control system can also note that a delivered stack of prints is taken from the tray. This information can also be displayed in the list in space 32. The status information can have the form of: "present in delivery tray X", or

"removed".

By means of this function a user can always find out where his print jobs are in the queue or where his prints are situated, this being extremely convenient particularly in an environment in which a number of printers are used.

The monitor function can also operate for just a specified sub-set of all the printers in the system. This can be set when the system is configured, or by means of a set-up function of the program.

The "monitor" menu in the menu bar above the Job Control window 20 offers the opportunity of activating a monitor function for the print jobs of the user concerned on the printer concerned. This function can also be called up from the start menu of the desktop software and will be described hereinafter.

The monitor function is intended to keep the user informed as to the status of his automatic print jobs. It can be operative for all the current jobs or for some of the jobs, as selected by the user.

The monitor function has three modes:

- A first mode ("active"): there is still at least one job of the set which has not been completed; also included is the number of jobs that have not yet been finished.
- A second mode ("passive"): all the jobs of the set have been finished or the set is empty.
- A third mode ("error"): one of the jobs has caused an error.

In response to the selection of the monitor function in the start menu of the desktop software, the workstation display screen displays a window in which the user can select one, more, or all the printers for the monitor function. This is shown in Fig. 10. After the user has clicked the "OK" key with the mouse, the workstation display screen displays a window in which the user can set his preferences for the form of presentation of the status of his personal print jobs (see Fig. 11). There are two main forms of the presentation, namely by means of a permanent icon on the screen ("by icon") or by means of messages which appear on the screen when there is any change in that status ("by alerts"). In the latter case the user can indicate the changes of status for which he wants to receive a message in order thus to avoid unnecessary reports.

The user inputs his preferences and presses the "OK" key, whereafter the function is activated. An icon now appears on the screen if the icon mode was selected.

When Job Monitoring is activated from Job Control, the selection window of Fig. 10 is skipped (the printer of the Job Control window is automatically selected), but the window of Fig. 11 is immediately displayed.

Fig. 12 shows monitor icons. In addition to the name of the printer for which it is active, an icon contains a symbol showing the status of a set of print jobs of the user on that printer. In this example, the following symbols are displayed for the above-mentioned three states:

For the first state ("active"): an illustration of a document with a pen;

For the second state ("passive"): an illustration of a document;

For the third state ("error"): a notice board in front of a document.

The said set of print jobs monitored by the monitor function can be the complete set of jobs on the printer concerned, but it can alternatively be a sub-set. This sub-set can only be selected in the Job Control window 20, space 21, by clicking the required print jobs with the mouse, followed by clicking the monitor menu in the menu bar.

When Job Monitoring is called up from the start menu of the desktop software, the set always contains all the jobs. The monitor function is dynamic: print jobs can be added to a monitored set.

In response to a double click of the mouse on a monitoring icon, the Job Control window of the printer concerned is opened, so that the user can inspect the complete status of his jobs.

A plurality of icons can also be displayed simultaneously on the screen, so that the user can inspect the status of different sets or printers simultaneously.

If the "by alerts" mode is selected, message windows appear only if there is a user-selected change of status of a print job from the set. An example of such a window is shown in Fig. 13.

In the above-mentioned embodiments, the desktop software is previously stored in the workstations. In a variant, the desktop software may be stored in a storage medium such as a floppy-disk or a CD-ROM disk and then the storage medium is delivered to the user so that the user can install the desktop software in the workstations of the information-processing system.

In another variant, the desktop software can be transmitted through the Internet or other networks so that it can be installed in the workstations of the information processing system.

Although the invention has been described with reference to the above exemplified embodiment, it will be clear to the skilled man that other embodiments are possible within the text of the claims. They are considered to come within the scope of protection of this patent.

4. Brief Description of Drawings

Fig. 1 shows an information-processing system in which the invention is situated.

Fig. 2 is a diagrammatic overview of the software according to the invention.

Figs. 3 to 13 show information windows displayed by the software according to the invention on the workstation screen.

Fig.1

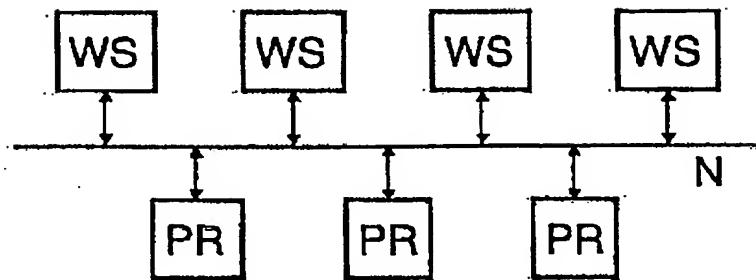
**FIG. 1**

Fig.2

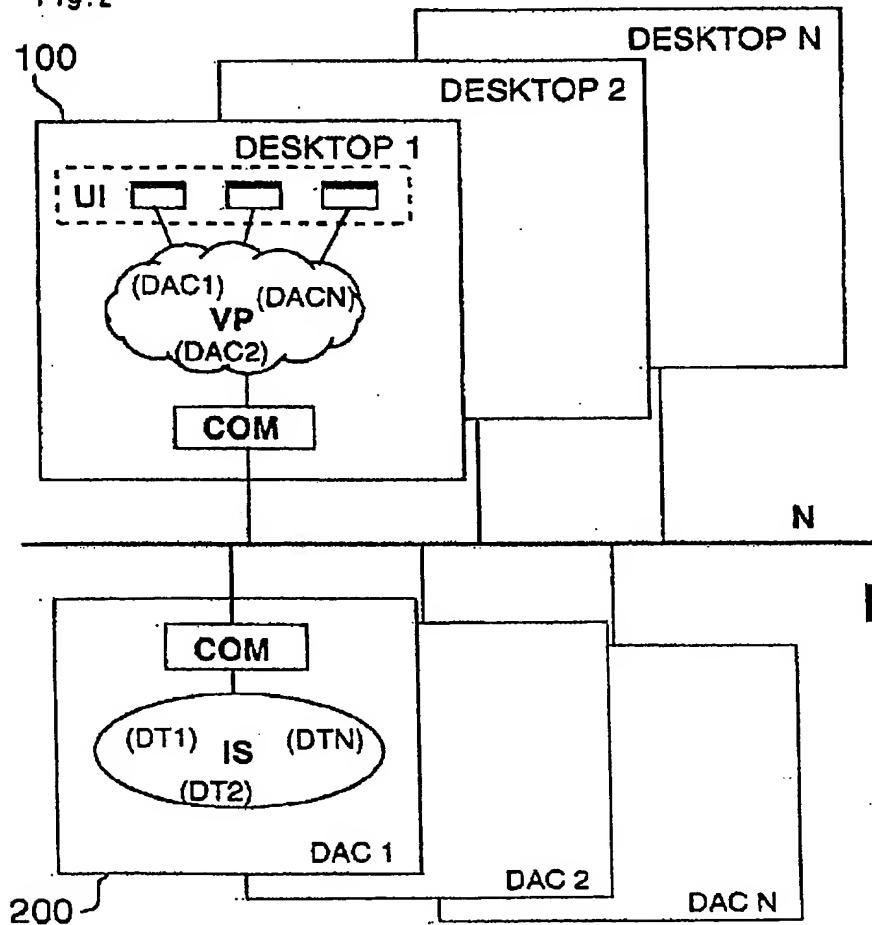
**FIG. 2**

Fig.4B

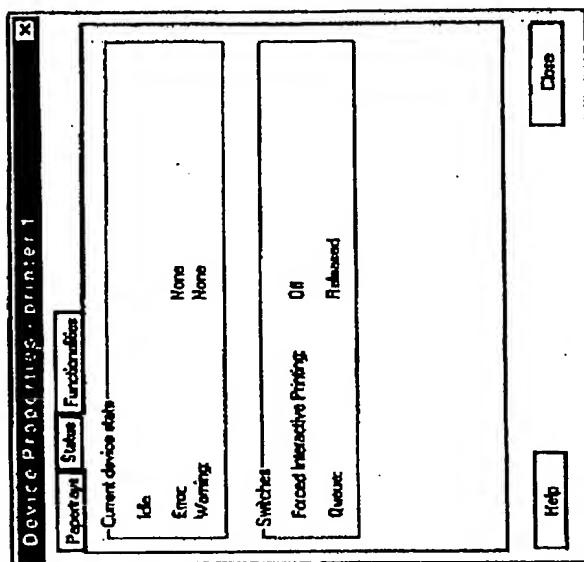


FIG. 4A

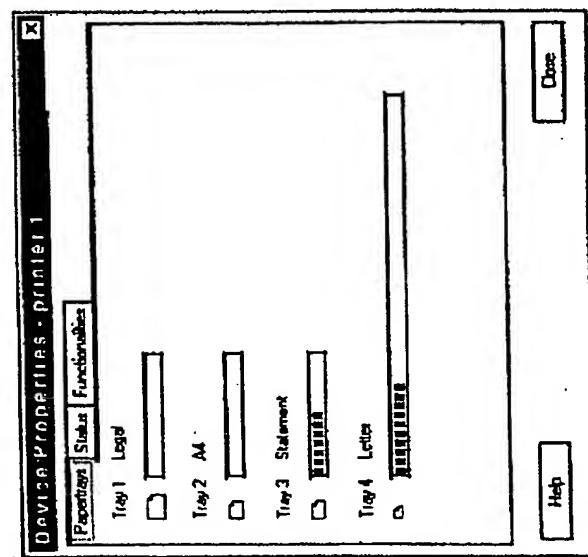


Fig. 3

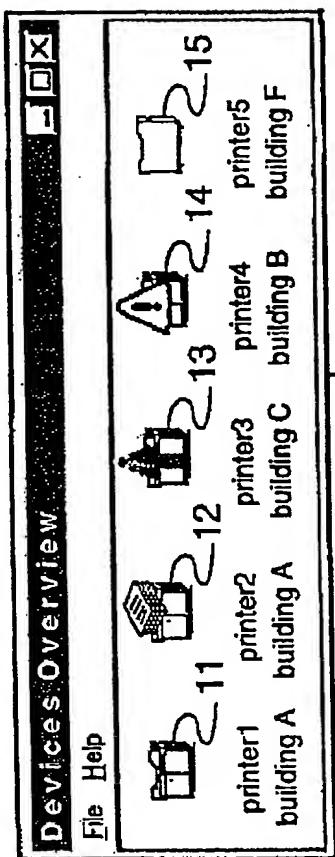


Fig. 3

Fig.5

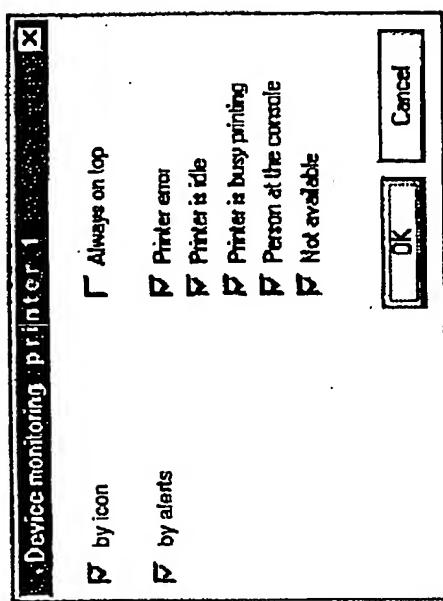


Fig.6B

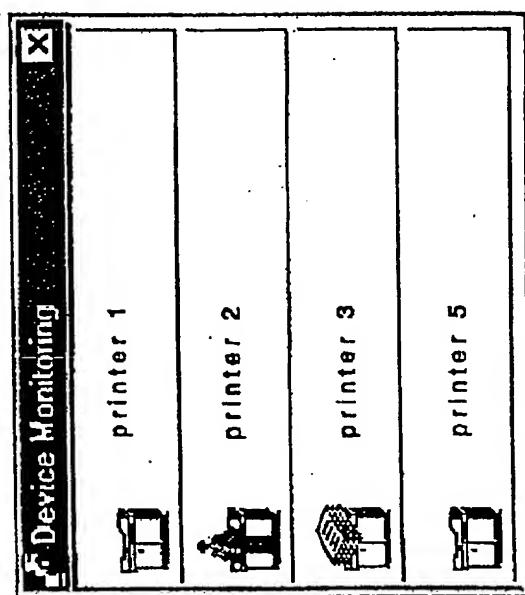


Fig. 5

Fig.4C

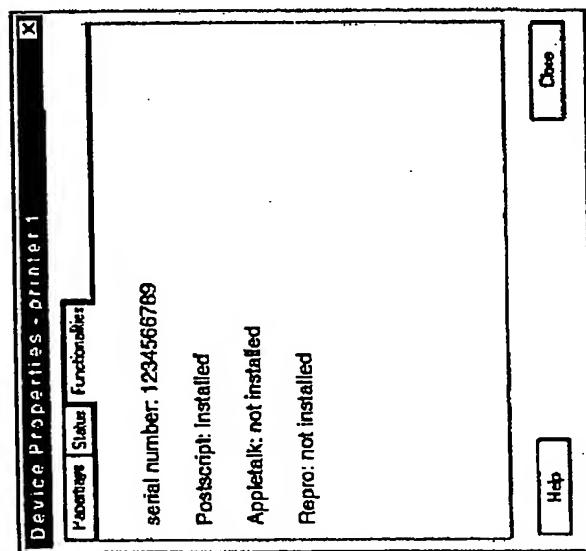


Fig. 4C

Fig. 6A



Fig. 6A

Fig. 6B

Fig.12

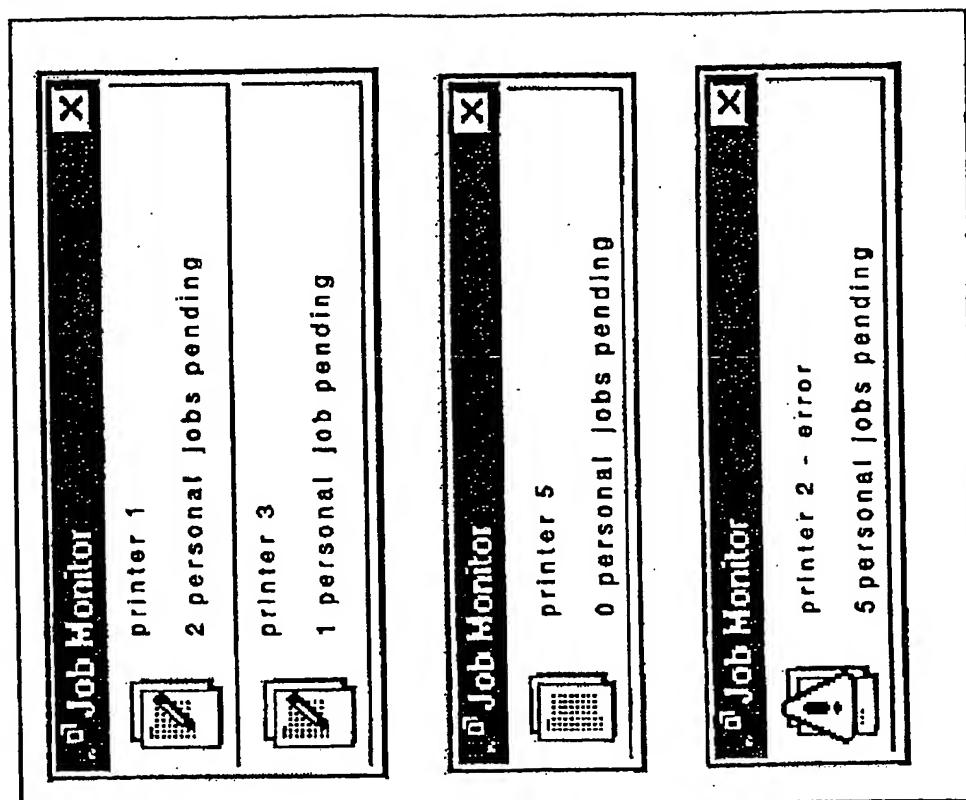


Fig.7

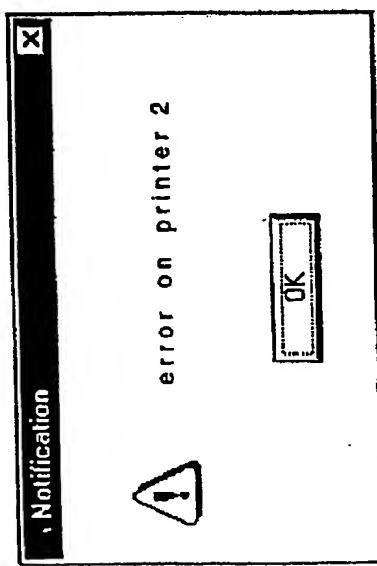


Fig. 7

Fig. 12

Fig. 8

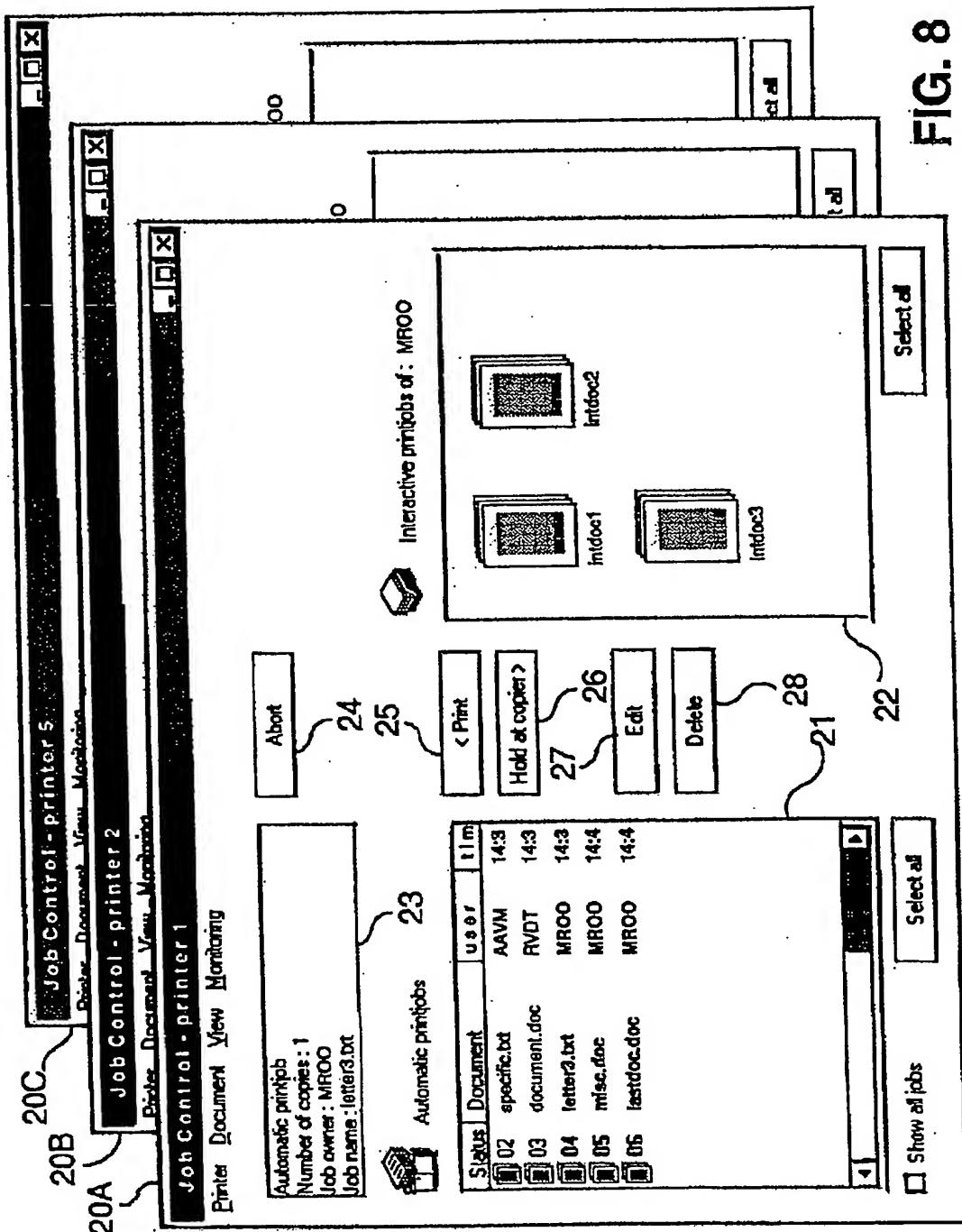


FIG. 8

Fig. 9

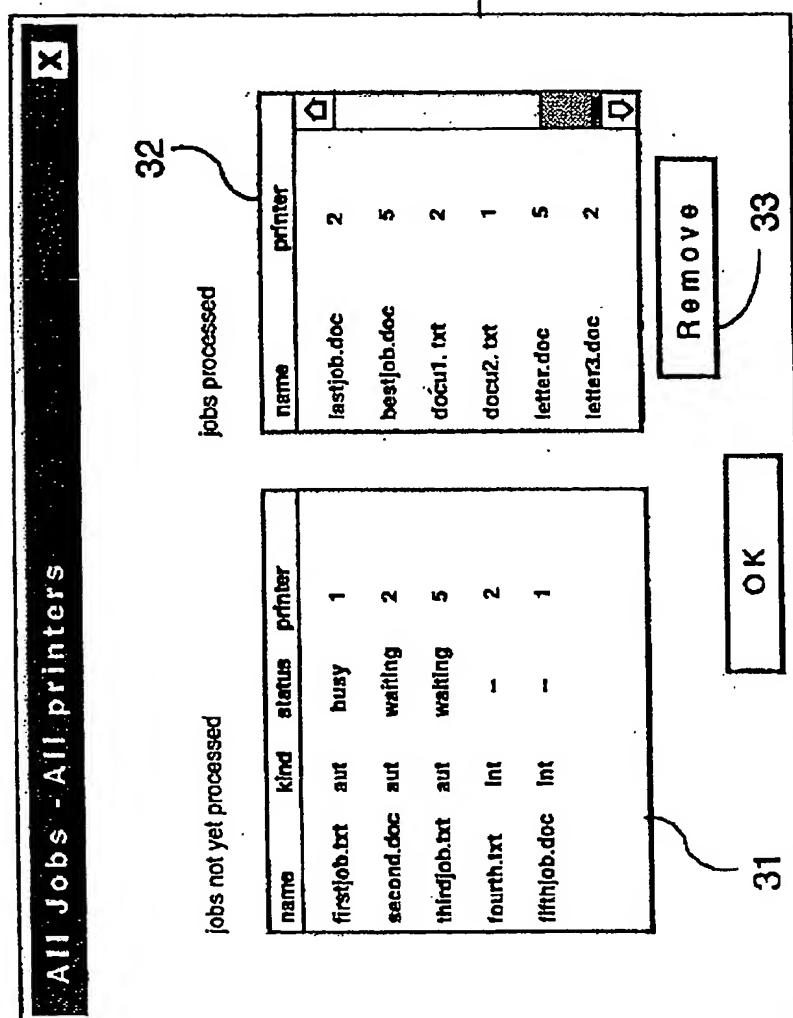


Fig. 9

Fig. 13

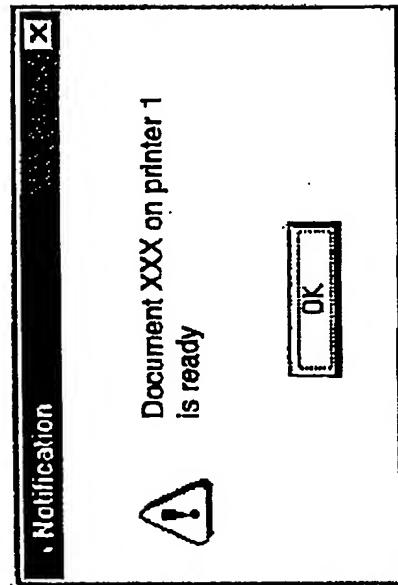


Fig. 13

Fig. 10

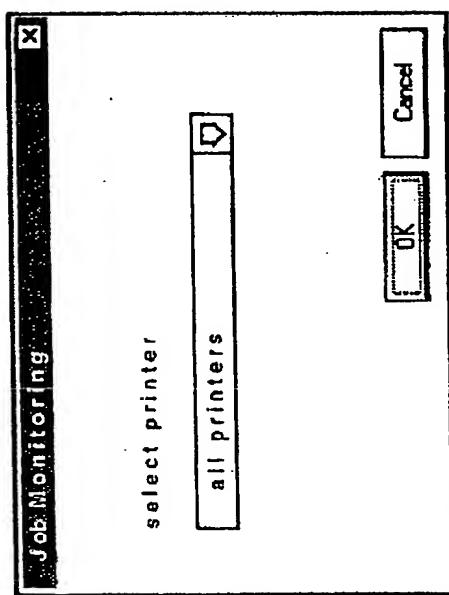


Fig. 10

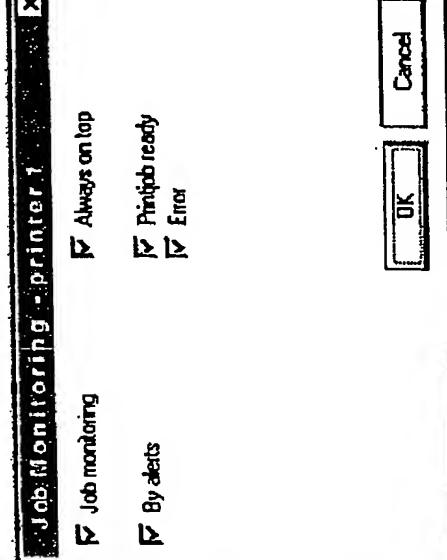


Fig. 11

1. Abstract

In an information-processing system comprising workstations and at least one printer interconnected by a digital network, the current state of the printer or printers is presented on the screen of a workstation in the form of an icon.

The printers are of a type which can carry out printing processes in an autonomous mode, in which a print job sent from a workstation is executed directly, and in a command-controlled mode in which a reproduction process, including a copying process, must be started from an operator control panel on the printer.

When the printer is "occupied" in the autonomous mode, a different icon is displayed from that displayed when the printer is "occupied" in the command-controlled mode.

2. Representative Drawing

Fig. 3